

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール岡山豊成		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援と児童発達支援を併用していただくことで、繋がりのある支援を提供することができる。	訪問先と支援方法やお子さまの様子など情報共有を丁寧に行っている。園(集団)での困りを知ることで、個別や小集団での係わりに活かしている。また、お子さまの得意なこともお互いに共有することで、強みを活かした支援に繋がっている。	今後もお子さまの得意を共有し、苦手をカバーできるような支援に繋げていく。保育所等訪問支援と児童発達支援を併用できる強みを活かし、繋がりのある支援を継続していく。
2	訪問の報告を兼ねて家族支援をおこなっている。その際、家族の方の意向や困り事も聞きながら支援に繋げている。	お子さまの園での様子をお伝えし、成長を喜びあったり、お子さま自信の困りごとを共有したりしている。お子さまの成長、発達や特性を家族の方が理解した上で、その成長を喜びあうことができる関係づくりを大切にしている。また、家族の方の意向を受け止めながら支援にも繋げている。	今後も、お子さまを中心に置き、家族の方とお子さまの成長を見守っていただけるように、家族支援の時間を大切にしてい
3	訪問先との情報共有の時間を大切にしている。	訪問時には毎回お子さまの様子や支援の方向性について情報共有をする時間を設けている。集団のなかでの困りごとや関わりについての悩みに寄り添い、お子さまの特性を踏まえた係りや環境の調整について伝えている。また、支援計画更新時にも、園の意向や今後の支援について話し合っている。	今後も訪問先と密に連携を取り、お子さまへの支援について、園と事業所と家庭と同じ方向を向けるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	系列園以外への保育所等訪問支援が現在行われていないこと。	事業所のことや保育所等訪問支援について周知できていないため。	関係機関連携や担当者会議などで事業所についてや保育所等訪問支援について伝え、知ってもらえる機会を増やしていく。
2	保育所等訪問支援事業について保護者さまに周知しきれていない。	契約時には保育所等訪問支援についての説明を行っているが、情報量が多いこともあり情報が流れてしまっている可能性がある。	今後は振り返り、座談会、掲示物などで保護者さまに周知できるようにしていく。